

令和6年11月例会

- 日時 11月27日(水)
- テーマ 秋の訪れを求めて 水元公園～柴又の散策
- 集合 京成高砂駅改札前
- 集合時間 9時00分
- 参加者 30名
- 距離 14キロ
- 解散 14時20分
- 案内役
リーダー：伊香賀 泰之
サブリーダー：飯田 武和、駒村 恵子

■コース

京成高砂駅(集合)⇒新宿交通公園(朝礼・ラジオ体操)⇒新宿みらい公園⇒水元スポーツセンター公園⇒かわせみの里⇒メタセコイヤの森⇒噴水広場(昼食・一時解散)⇒ごんぱち池⇒寅さん記念館⇒山本亭⇒柴又帝釈天(解散)

宿場町「にいじゅく」

前日の夜から朝方にかけての雨もあがり、当日は快晴の歩こう会日和となりました。京成高砂駅から歩くこと15分、新宿(にいじゅく)交通公園にて朝礼とラジオ体操を実施。ここ「新宿(にいじゅく)」は、水戸街道と成田街道(昔の佐倉道)が分かれる宿場町でした。本日の参加者は30名。うれしいことに初めての方も2名参加してくれました。



朝礼(川村副会長)



まずは、新宿交通公園にて集合写真

水元公園めざし、出発！

水戸街道(国道6号線)、常磐線を横切り、目指すは水元公園の中にある「かわせみの里」。途中、「葛飾にいじゅくみらい公園」で一休み。この公園、区立公園として区内最大の広さを有し、東京理科大学葛飾キャンパスを囲む水と緑豊かな明るく賑わいのある公園。

次に立ち寄ったのが、水元スポーツセンター公園。葛飾清掃工場を囲むように作られた公園で、ここも広い。ポニー広場があり、小学生まで無料でポニー乗馬体験ができるとのこと。この日も多くの子供たちが集まっていた。ここで、ポニーの「ジョアンナ」ちゃんにご対面。

可愛いお嬢ちゃんかと思っていたら、2006年生まれと書いてある。4倍すると人間の年齢に当てはまるらしいから、もうかなり高齢馬だ。がんばれよ！



紅葉の水元公園を歩く

水元公園到着。都内で唯一水郷の景観をもった公園で、広さも東京ドーム20個分というけた違いのスケールだ。

「かわせみの里」では運がいいとかわせみを見ることができるのだが、残念ながら 対面はかなわず。

気を取り直して紅葉の水元公園を歩く。紅葉のピークは12月上旬、現在は紅葉度30%とのことだが、銀杏や ポプラ、メタセコイアなどの樹が黄色く色づき始めていて、見ながら歩くのは楽しく、気持ちがいい。

メタセコイアは落葉性の針葉樹で、先に化石が発見されたことから「生きている化石」として有名で、秋には赤褐色になる。水元公園には1800本植えられているが、まだ黄褐色…。しかしながら、なかなか渋い趣があり壮観だ。



黄色く色づく大銀杏をバックに・・・

噴水広場近くのベンチで「小合留（こあいだめ）」のほとりのをのんびり眺めながら昼食休憩。ちなみに小合留とは、8代将軍徳川吉宗が農業用の水をためておくために川をせきとめて作った溜池のこと。

昼食後は、水元公園のシンボルである銅像「花吹雪」と鮮やかな黄色の大銀杏をバックに集合写真。秋に色づく銀杏は、「銀杏黄葉（いちようもみじ）」と呼ばれ、本日一番の素敵な写真が撮れました！！

水元大橋を渡り、しばらく小合留を左に見ながら、歩き続ける・・・。
水面に映る鮮やかな紅葉と真っ白なダイサギ、コサギ、のんびりと浮かぶ鴨などの水鳥達。
その余韻を楽しみながら、水元公園を離れ、江戸川の土手へ。



柴又帝釈天へ

水元公園を離れ、今度は江戸川の土手を延々と歩く。右手は金町の町並み、左手は河川敷と江戸川が続く。気温は20℃を超え、次第に暑さが堪えてきた。うっすらと汗が滲む。金町浄水場を越え、皆さん疲労困憊の様子。寅さん記念館に到着。本来ならば、解散後、見学をしてほしかったのだが、12月23日まで外壁改修工事のため休館。一度入館したことがあるが、映画のセットや名シーンがふんだんに楽しめ、寅さん好きにはたまらない記念館だった。

山本亭の庭を通り抜けるが、この家、カメラ工場の社長さんの家だったとのことで、庭は日本3位の庭園にランクされている。一度はのんびり眺めてみたいものだ。

そして、解散地の柴又帝釈天到着。今回の歩こう会は天候に恵まれ、水元公園の秋の紅葉を十分に満喫することができた。お疲れさまでした。

恒例の反省会は、帝釈天参道沿いにある町中華。12名の皆さんが参加し、有意義な反省会となりました。



江戸川の土手を歩く



山本亭



帝釈天参道



反省会